

## \* 1段階の連携病院

### 島原病院

急性期～回復期、維持期とそれぞれに役割があると再認識しました。「在宅」が最終目的であり、回復期や維持期でも、それに向けて働きかけられていることを急性期から、ご家族、患者さんへ説明し、いないことに慣れることのないよう、その人らし人生が送られるような働きをしていきたいと思います。今後も連携パスが充実できるよう関わっていききたいと思います。

回復期病棟は、看護師15対1、日勤数7名で起床後、就寝前の更衣介助を行っている。患者1人1人にあった目標設定やカンファレンスを通し、細やかな計画変更が行われている。また、リハビリと病棟の連携が取れており、申し送り表をすべてのスタッフが見るよう周知徹底できている。急性期病棟とは違い、生活の場がすべてリハビリだということで、あらゆる場所に設備が工夫されていた。当院からの連携パスも利用されていることが分かった。

## \* 2段階の連携病院

### 愛野記念病院

誰もが、目に見える形で(患者様のADL状況を)掲示することでの情報共有も、一つの手段だと思いました。上記に関しては、個人情報面で配慮も必要だと同時に思いました。2日目のみ、1日参加でしたが、他にも学びがありました。ありがとうございました。

普段、中枢疾患の方と関わる機会が少ないため、リハビリだけでなく、他部署の様子も拝見できて、良かったです。

各施設の特徴を理解することができた。しかし、脳卒中パスを使用し、連携を行っている具体的な内容をもう少し加えて頂きたかった。島原病院から次の施設へ、こういった情報を渡し、次の施設が情報を受け取り患者対応に役立っているのか等

### 柴田長庚堂病院

島原病院では、脳外科病棟に加え、新しいICU、リハ室、リハの実際(当日発症の患者様)まで、見せていただき、理解を深めることができ、よかったです。また、やわらか食に関しても、実際口にして味わってみて、予想外においしかったことは”目からウロコ”の感覚でした。嚥下障害のある患者様にも、ミキサー食など、何を食べているのか分からない、などの悲しい状況から脱することができそうで、自分の施設でも是非復活させてもらえるよう、働きかけたいと思います。(以前はしばらく提供されていましたが)

リハビリについては永石リハ課長にお聞きし、解決しました。フォンテでの取り組み(退所までの取り組みだけでなく、ケア部門での工夫など)を拝見させて頂き、参考になりました。法人内だけでなく地域を連携して、上手に在宅へすすめていければと思います。本日は勉強になりました。ありがとうございました。

### 八尾病院

口腔ケア、入浴、やわらか食の試食など、直接見る事が出来て、参考になりました。徳永先生の病院の中でくさいにおいがすることを徹底してなくしていったということが印象的でした。

### 石川内科医院

病気が発症してからの流れをみれてよかったです。各施設でのとりくみや、工夫している所をみれてよかったです。

### よこた医院

口腔ケア、経管栄養の方、経口摂取できない方などの当院ではブラッシングのみだけで、マッサージ等を行わない為、実行してみたいと思いました。連携パス以外でも回復期・維持期のリハビリの方法など、当院では介護と看護だけの体制の為、なかなか出来ないのが現実で、色々と相談等によって頂ければ助かります。

今日はありがとうございました。うちは個人病院なので、こちらの様に介護器具が不足していますし、スタッフも数にも限りがあり、なかなかこちらの様に、深く取り組むことが難しいんですが、少しでも近づける様頑張ります。

### **\* 3段階の連携病院**

#### **介護老人保健施設 ガイアの里**

他の老健施設でも同様の課題を抱えているということを知ることができ、その中でそれぞれの職種が「どのような動きをしていくか」を考えていくことが重要だと学びました。

同じグループの中で、患者さんを困り込んでしまうのではなく、他施設との連携をしていくことが大切だということがわかった。入所者様に、在宅への復帰をイメージできるような声かけを日頃から、行っていこうと思う。

#### **介護老人保健施設 真寿苑**

学びたい事は少し物足りなかったが、それ以上に学ぶ事は多かった研修会でした。

#### **柴田長庚堂病院 通所リハビリテーション**

教育体制については時間内で全てをお聞きすることは難しいと思いますが、きっかけはお聞きすることができたので、大変有意義なものになりました。ありがとうございました。

リハビリの対象者の割合は脳血管リハビリ45%、整形疾患55%でした。回復期リハビリにおいては、日々状態が変化していく患者様の身体機能に対してリハビリスタッフが評価を行い、病棟でのADL動作等に全職種が統一して実施できるように、日常生活実施シートを利用していました。当病院でも参考にさせて頂き、今後活用していきたいと感じました。

#### **ろうけん長庚堂**

現状に満足せず、スタッフの意識を高めていながら、利用者様が安全・安楽に楽しく生活でき、1人でも多くの利用者様が在宅に帰れるように取り組んでいきたいと思いました。その為にも他部署との連携が不可欠であり、どうすればうまく連携できるのか、話し合っていく必要があると思いました。スタッフの意識向上のためにも、今後色々なスタッフに研修に参加していただきたいと思います。

#### **デイサービスしまばら**

介護職にできる事が多々あるというのが良く分かりました。現場で生かして行きたいと思います。